

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課： \_\_\_\_\_  
担当課長名： \_\_\_\_\_

<b>事業名</b> 一般国道399号 中島バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 福島県
<b>起終点</b> 自：福島県いわき市小川町上平 至：福島県いわき市小川町上小川	<b>延長</b>	2.1 km

**事業概要**  
一般国道399号は、福島県いわき市を起点とし、山形県南陽市に至る延長約165kmの幹線道路である。  
中島バイパスは、幅員狭小区間の解消および25t未対応橋梁の解消を図ることで車両大型化へ対応し、円滑な交通を確保することを目的とした延長2.1kmのバイパス整備事業である。

H2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H4年度用地着手	H5年度工事着手
---------	------------------------	----------	----------

全体事業費	約48億円	事業進捗率	77%	供用済延長	1.6 km
-------	-------	-------	-----	-------	--------

計画交通量	4,632台/日				
-------	----------	--	--	--	--

<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体)	1.7	総費用 (残事業)/(事業全体)	9億円 / 60億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	41億円 / 102億円	基準年 平成17年
	(残事業)	4.5	事業費：9 / 58億円 維持管理費：1 / 2億円	走行時間短縮便益：38/97億円 走行費用減少便益：3 / 4億円 交通事故減少便益：1 / 1億円			

**事業の効果等**  
 ・国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難箇所の解消）  
 ・災害への備え（緊急輸送道路第二次確保路線の確保）

**関係する地方公共団体等の意見**  
 ・地元熱意は高く、いわき市長および国道399号（いわき福島南陽間）改良整備促進期成同盟会より早期整備を要望されている。

**事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等**  
 ・緊急輸送道路第二次確保路線（平成9年度）に位置付けられ、より一層重要性が増している。

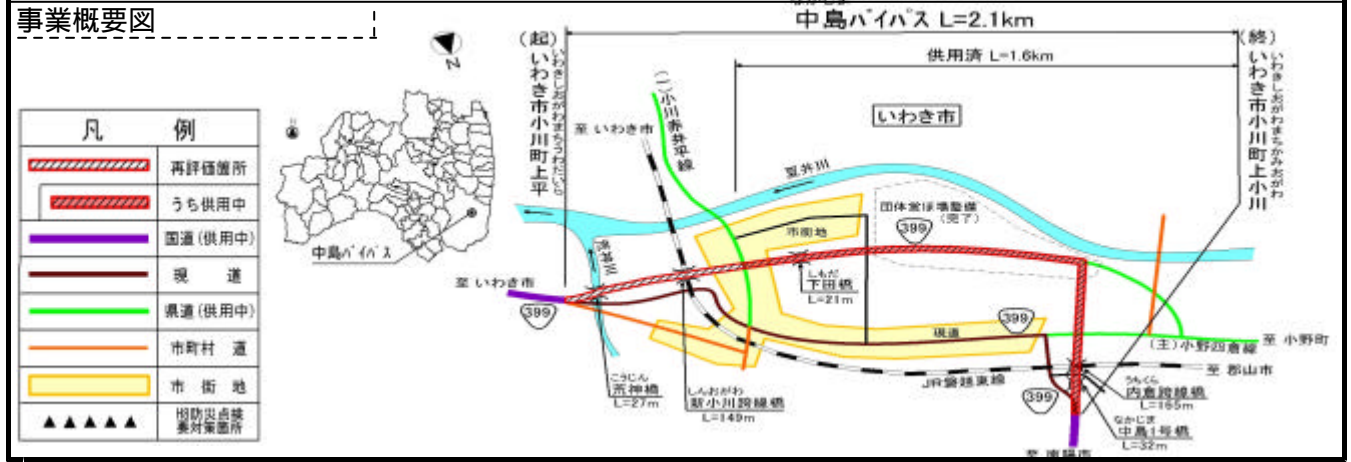
**事業の進捗状況、残事業の内容等**  
 ・平成16年度までに終点側L=1.6kmを供用している。現在は残る区間の橋梁工事を進めている。

**事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等**  
 ・平成13年度までに電柱等を除き用地買収は完了していることから、計画的な投資により整備を進める。

**施設の構造や工法の変更等**  
 ・再生路盤財投の利用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。

**対応方針**

**対応方針決定の理由**  
 ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。